
パンダヒーロー (

白紙描写

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パンダヒーロー)

【Nコード】

N2631BA

【作者名】

白紙描写

【あらすじ】

パンダヒーローの曲を聞いて何となく、書いてみました。

アキラクオリティ

パンダのヒーローは、何色でしょう？

疑問を唱えるのがズレているようだが、そもそも、僕はあくまで、空想論理や哲学を圧縮して収縮して考え出された

一つの確信だと、思われるのですよ。

日付は、3月6日。

アキラが初めてパンダヒーローに、出会った。日です。

場所は、球場。

球場と言っても、もう使われていない。雑草達が元気に生い茂る…観るに観枯れるとてつもない風景だった。

誰のモノなのか知らない自転車と家で作った麦茶をペットボトルに詰めた些細な飲料で、噂のグラウンドとやらに向かったのだアキラ。噂を聞けば、都市伝説だって、心霊スポットだって、一人で飛び込んでしまうアキラの好奇心は、鉄筋コンクリートよりも筋金入りで、気になった出来事、気になった事件は、分かるまで調べるといのが彼の特徴ともいえる。

つまり、アキラは馬鹿。

自転車を立ち漕ぎして、河川敷のグラウンドへ。

空はいつぱいの青空と、こまめに散りばめられた白い雲たちが、究極の爽快さを演出させていた。

「はぁーはぁー」

坂道でも、下り坂でもない扁平な道のりは、加速とも減速とも言えないスピードで駆けめぐっていた。

おかしな話。アキラは、汗水絶やした後の麦茶が飲みたかったのだ。

何故、自転車をこぎながら、麦茶を飲まないかって？

飲めないからに決まっています。

不器用で変人扱いされていて、クラスでは上位の浮遊力を誇り、…文字通り浮いていて友達も指折りの数しか、手に入れていないアキラは、

自転車をこぎながら、ペットボトル蓋も開けることが出来ないのです。

自転車のフロント部分に取り付けて在るカゴは、…カゴの中で、ペットボトルがダンシングしている有様なのです。

手に終えないという。

息も切らしているため、完全にお飲み物は、運動の後と言うことになる。

「麦茶！ああアアあああああー」

雄叫びにも似た罵声と奇声を混同させ、蒼き大空へと投げ捨てた。

次へ

アキラクオリティ（後書き）

アキラクオリティとは、単なるアキラと言う名前を主人公にした。それです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2631ba/>

パンダヒーロー（

2012年1月6日19時47分発行